

社会文化論集

島根大学法文学部紀要 社会文化学科編

第 20 号

2024

■論文

戦後生活改善の風俗改善運動 後藤 育子 1

■研究ノート

基礎自治体を対象とした調査票調査の設計
..... 猿渡 壮・武田 祐佳 17

■翻訳

金官加耶考古学の研究成果と流れ
..... 趙 晟元（訳：平郡 達哉・西村 葵・福田ことり） 27

島根大学法文学部

『社会文化論集』原稿執筆要領

1. 原稿の長さ（枚数）

原稿量の限度は、図及び表を含め刷上り20頁程度とする。摘要、要旨がある場合、これを含む。超過がやむを得ないと紀要委員会が認めたときは、紀要制作費のページあたり単価に基づき、超過分の費用を執筆者が負担する。

2. 版面

判型はB5版、本文は10ポイントで、横組みの場合20字×37行の二段組み、縦組みの場合24字×31行の二段組みである。挿図は、1頁大の場合、縦216mm×横140mm（表題を含む）。左右半頁の場合、縦216mm×横65mm（表題を含む）。

3. 論文題名と執筆者

- (1) 論文等の題名は、なるべく簡略にし、印刷した場合に2行にならないように配慮すること。副題も、なるべく1行に収まるようにすること。
- (2) 和文の原稿においては、欧文題名およびローマ字表記氏名を、欧文の原稿においては、和文題名および氏名を、かならず併記する。

4. 論文摘要、要旨、キーワード

- (1) 和文の場合には、和文摘要または要旨400字程度と欧文要旨1頁以内を、また、欧文の場合には、欧文摘要または要旨200単語程度と和文要旨1頁以内を添えるのが望ましい。
- (2) 摘要または要旨の末尾に、原稿の内容を表わす和文および欧文のキーワードを各5語以内で記載することが望ましい。

5. 原稿の提出

- (1) 文章は原則として常用漢字、現代かなづかい、算用数字を使用し、平明な表現を用いること。
- (2) 文字原稿は、テキスト形式あるいはワープロソフト（Microsoft Word等）で作成し、図表・写真等についても原則として電子媒体で提出すること。図や写真は白黒印刷で印刷可能な質に仕上げること。
- (3) 提出原稿はできるだけ1つのファイルで以下の順でまとめること。ただし、表、図はまとめて1つの別ファイルにしてもよい。

摘要、要旨、本文、付論、注、引用文献、キーワード、表、図

- (4) 図や表、写真には、それぞれの通し番号を付して表題（キャプション）を付ける。また、必ず「出所」または「資料」を明記する。通し番号を付した表題（キャプション）についてもテキスト形式あるいはワープロソフト（Microsoft Word等）で作成した一覧を提出すること。

(5) 打ち出し原稿の提出上の注意

- ・打ち出した原稿本文には頁を振ること。
- ・図や表は、本文には含めず、一括してまとめて本文の後に置く。それぞれ1頁に1つずつ配置すること。
- ・本文中には、図表番号を赤字で右側欄外に注記して挿入箇所を明示する。また、本文と図表のレイアウト見本を作成し添付すること。

6. 本文中の見出し

階層がわかり易く明示されるように作成すること。

例) はじめに (大見出し)

1 (大見出し)

1-1 (中見出し)

1-1-1 (小見出し) …

7. 注、引用文献

- ・「注」と「引用文献」は、本文の末尾にそれぞれ分けて記載する。
- ・「注」には、(1)、(2) …のような一連番号を付する。本文中における、「注」を付す場所には、() 内に数字を入れ、右上付き文字で示す。
- ・「引用文献」は、著者、刊行年、論文題名、掲載誌名、巻、号、掲載頁、発行者を明記する。本文中における「引用文献」の表記は、() 内に著者名字と発行年を記入し、引用箇所が明確な場合はその頁数を記入する。

8. 原稿の提出先

島根大学法文学部社会文化学科

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

社会文化学科紀要委員会

※欧文の原稿についても、上記の要領に準ずる。

<執筆者紹介>

- 後藤育子 (法文学部卒業生 文化人類学)
猿渡壮 (社会文化学科 社会学)
武田祐佳 (同志社大学社会学部嘱託講師 社会学)
趙晟元 (韓国国立慶州文化財研究所特別研究員 考古学)
平郡達哉 (社会文化学科 考古学)
西村葵 (島根県立八雲立つ風土記の丘 考古学)
福田ことり (雲南市教育委員会 考古学)

2024年3月15日印刷

2024年3月20日発行

発行者 島根大学法文学部社会文化学科

〒690-8504 松江市西川津町 1060

TEL (0852) 32-6195

社会文化論集編集委員会

岩本 崇

福井 栄二郎

印刷所 (株)報光社

〒691-0001 島根県出雲市平田町 993

Journal of Socio-Cultural Studies

Memoirs of Faculty of Law and Literature, Shimane University

No.20

2024

■ Articles

Improvement of custom in the postwar period GOTO Ikuko 1

■ Research Note

Designing of a Survey with Questionnaires Targeting Local Government
..... SARUWATARI Takeshi, TAKEDA Yuka 17

■ Translation

The research results and trends of archaeology in Geumgwang Gaya
..... CHO, Seong Won (HIRAGORI Tatsuya, NISHIMURA Aoi, FUKUTA Kotori) 27

Faculty of Law and Literature, Shimane University